

子どもが知るべき哀歌



じだい 時代を 見てこそ自分を 見ることが出来ます

定刻祈りに成功したらチェックしよう

哀 1:1 ああ、人の群がっていたこの町は、ひとり寂しくすわっている。国々の中で大なる者であったのに、やもめのようになった。諸州のうちの女王は、苦役に服した。



教会で命令がくだされた「福音化に手間取ることには不従順である」—スコット

RUTC時代

重職者

1. エレミヤは悲痛さを見ました

B. C586 年エルサレム滅亡の直後に記録された哀歌（悲しい心を歌った歌）です

2. エレミヤは、時代の悲痛さを感じました

(1) 神様のさばきの預言が成就されました
神様のみことばを信じない人が多いのです

(2) エルサレムは、バビロンに侵入され捕虜になりました
① 1次：B. C. 606 年
② 2次：B. C. 597 年
③ 3次：B. C. 586 年

(3) ゼデキヤ王は、結局、バビロンの捕虜になりました

3. エレミヤが見たことはみことばの成就でした

(1) 神様の預言されたさばきの成就でした
(2) 神様はイスラエルに新しい希望をあたえられました
(3) すべての民が知るように*「おり句」を使いました。

*おり句とは詩の最初の言葉をアルファベット順になるように並べて書き、覚えやすいようにしたしたもの

OMC時代

教役者時代

文化戦争時代

福祉伝道時代

未自立教会時代



福音の

涙があつてこそ

福音を回復 することができます



1. 涙のない時代は、霊的に死んだ時代です

- (1) エジプト時代に涙がない人たち (出 3:1~8、14:9~11、民 14:1~10)
- (2) バビロン時代の直前にも、涙がなかった王たち (I 列 18:1~19:20) -カルメル山、ホレブ山
- (3) ローマ時代にも涙がなかったユダヤ人 (使 1:7~7)

2. 福音的な涙があつてこそ、生かされます

- (1) エレミヤは福音的な涙を流しました (エレミヤ 33:1-3)
- (2) イスラエルの涙 (哀歌 1:16)は、時がおそい後悔でした
- (3) 民と次世代の涙は苦難の涙です

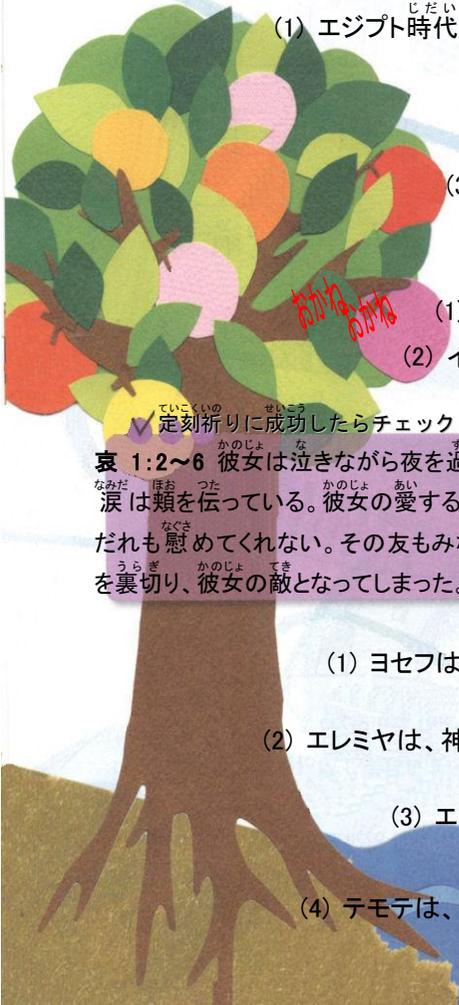
①泣きながら夜を過ごしました

②多くの労役のうちに捕らえ移されました

③神殿は破壊されて、宝はうばわれました

3. 福音の涙を悟ればすべてのことが回復されます

- (1) ヨセフは、契約が成就することに対して感謝の涙を流しました (創 45:1~5)
- (2) エレミヤは、神様の大きくてすばらしいみわざを見て涙を流しました (エレミヤ 33:3)
- (3) エゼキエルは、ケバル川のほとりで神様の奥義を知って涙を流しました (エゼキエル 1:1)
- (4) テモテは、伝道の祝福を味わう涙を流しました (II テモテ 1:1~5)



定刻祈りに成功したらチェックしよう

哀 1:2~6 彼女は泣きながら夜を過ごし、涙は頬を伝っている。彼女の愛する者は、だれも慰めてくれない。その友もみな彼女を裏切り、彼女の敵となってしまった。(2)

祈りは神様との対話の中で、私たちの心を表現することだ

祈りは愛する二人の対話だ



福音の 情念があつてこそ のぞ 望みを持つことが できます

ていらくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

▼ ● ● ●
哀 2:1~10 ああ、主はシオンの娘を御怒りで曇らせ、イスラエルの栄えを天から地に投げ落とし、御怒りの日に、ご自分の足台を思い出されなかった。(1)



キリストの中であなたがいる場所を考えて、偉大なことを期待しなさい—アンドリュー・マーレー

子どもが知るべき哀歌

1. 情念のない民は、力を育てることができません

- (1) ユダヤ人の教権
- (2) 朝鮮時代の権力(紛争)
- (3) 世界教会の紛争(生存権)

2. 福音の情念があつてこそ、望みがあります

- (1) かたい城と、すべての宮殿がほろぼされました (2:5)
- (2) 幕屋も破壊され、荒れすたれました (2:6)
- (3) みことばが途絶え (2:10~14)、座りこんだシオンの長老、預言者のごまかしの預言

3. Remnant7 人は、契約的な情念を持っていました

- (1) 30年の情念 (創 45:1~5)—ビジョンを持っていたヨセフの情念
- (2) 80年の情念 (出 3:1~15)—霊的指導者モーセの情念
- (3) 両親から受けた情念 (I サムエル 1:1~11、I サムエル 16:1~13)
—サムエルとダビデの情念
- (4) 国家的な情念 (I 列 19:1~20、II 列 6:8~24)
—エリヤとエリシャの情念
- (5) 未来に対する時代的な情念 (II テモテ 1:1~5、2:1~7)
—伝道者パウロとテモテの情念



まことの祈りは真実と従順さを要求する—レナード・レイボン・ヒル

1. 時代ごとに、世の中の喜びは苦痛に近づくことになりました

- (1) ノア時代(創 6:1~20) - 快樂を求める生活
- (2) バベル塔(創 11:1~8) - 自分の名を高めようとする生活
- (3) 世の中の喜びを求める生活は、苦痛につながります (Ⅱテモテ 3:1~13)

2. 福音的な苦痛があつてこそ、災いに勝つことができます

- (1) 主の怒り(3:1~2) - やみの中を歩き、平安から遠のく
- (2) 主の望み

- ①あわれみ(3:22~23) ②救い(3:50) ③答え(3:57)

3. 苦痛を喜びに変えてこそ、福音の中にあることです

- (1) 奴隷の現場(創 39:2) - インマエルの喜びを味わったヨセフ
- (2) 紅海の前で(出 14:9~13) - 主の救いを見たモーセ
- (3) 契約の箱の横で(Ⅰサムエル 3:19) - 祈りの答えを味わったサムエル
- (4) 牧場で(詩 23:1) - とぼしいことがない恵みを受けたダビデ
- (5) 避難した場所で(Ⅱ列 2:1~11) - 神様のみわざを見たエリヤとエリシャ
- (6) 捕虜で(イザヤ 60:1~22) - 主の栄光の光を伝えたイザヤ
- (7) 迫害の中で(Ⅱテモテ 2:1~2)

- キリスト・イエスの中にある恵みを見たパウロとテモテ



ふくいんてき
福音的な
苦しみをさとしてこそ
わざわざに勝つことが
できます

✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう
哀 3:1~18 私は主の激しい怒りのむちを受けて
悩みに会った者。主は私を連れ去って、光のない
やみを歩ませ、(1~2)。



定刻^{ていこく}祈^{いのり}りに成功^{せいこう}したらチェックしよう

哀^あ 4:1~5 乳^ち飲^のみ子^しの舌^{した}は渴^{かわ}いて上^あごにつき、幼^{おきなご}子^こたちがパンを求^{もと}めても、それを裂^きいて彼^{かれ}らにやる者^{もの}もない。(4)



1. 真理^{しんり}を知らなければ、正しい悔^くい改^{あらた}めをすることができません

- (1) 福音^{ふくいん}を知らないユダヤ人^{ユダヤ人} (使^し 1:6~7)
- (2) 救^{すく}いを知らないユダヤ人^{ユダヤ人} (ヨハネ 3:1~16)
- (3) サタンを知らないユダヤ人^{ユダヤ人} (マタイ 12:1~45)

2. 福音^{ふくいん}的なまこと^{まこと}の悔^くい改^{あらた}めがあつてこそ、みなが生^{なま}かされるようになります

- (1) 光^{うしな}を失^なった金^{くず}—崩^{しん}れた神^{しん}殿^{でん}(4:1)
- (2) 土^{つち}のつぼのようにくだかれたシオン^{シオン}の子^こら (4:2)
- (3) 乳^ちを飲^のむことができない子^こども(4:3~4)

3. 福音^{ふくいん}的な悔^くい改^{あらた}めは、神^{かみ}様^{さま}のみこころを變^かえます

- (1) ニネベの悔^くい改^{あらた}め (ヨナ 3:9)
- (2) 放^{ほう}蕩^{とう}した息^{むすこ}子^こが帰^{かえ}って来^きたこと (ルカ 15:11~32)
- (3) キリストを知る者^{もの}の求^{もと}め (Iヨハネ 5:11~14)

神^{かみ}様^{さま}の
悔^くい改^{あらた}め
キリスト

祈^{いのり}りは神^{かみ}様^{さま}の心^{こころ}にいたるよう^{よう}にすることだ—テイラー



ふくいんてき
福音^{ふくいん}的な
悔^くい改^{あらた}めが
あつてこそ
次^じ世^せ代^{だい}を生^{なま}かす
ことが出来ます

私^{わたし}たちの祈^{いのり}りは、負^まけることを知らない力^{ちから}とこわがること^{こと}がない忍^{にん}耐^{たい}と折^おれること^{こと}がない勇^{ゆう}気^きで強^{ちやう}く求^{もと}めなければならぬ—イーエム・パウンズ